

事業	事業項目	内 容	担当	年度													収入予算	支出予算	備 考			
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3							
事業 創 出 ・ 市 場 開 拓		中期事業計画に掲げる「目指す姿」の実現に向けて、「企業間連携による事業強化・創出の促進」ならびに「産学官連携・協働による事業創出・市場開拓促進」をミッションとして、引き続き内外の協力を得ながら事業に取り組む。 ・「事業テーマ別研究会」については、宮城県農業法人協会におけるIT交流会の実績を基に引き続き本年度も、各種異業種交流会に参加する。	事業共創(委)																			中期事業計画に掲げる目指す姿 ・企業側からの提案により、行政機関や大学から事業創出や市場開拓への協力を引き出している ・活動意欲があり機動力に富む協働プロジェクトをタイムリーに組織し、多くのビジネスチャンスを創出している ・異業種企業との連携により、ユニークな商品やビジネスモデルが生まれる ・広範な情報アンテナにより異業種ニーズを検知できる ・国内外の企業から協業の打診がくる
	事業化を睨んだ異業種研究会(交流会)への参加 (I-2-2.2-(1))	県内への各種企業の進出に伴い情報サービス産業への波及効果の期待される分野について、関連団体などとの連携により新たなビジネス創出のシーズを探る。 ・みやぎ工業会への参加。 製造業との異業種交流を行うためにみやぎ工業会の活動に参加し地域のIT化へ貢献する。 ・宮城県農業法人協会への参加 農業生産法人との異業種交流を行うために、宮城県農業法人協会の活動に参加し地域のIT化へ貢献する。 ・ウェルビーイング分野の研究会としてFWBC(仙台フィンランド健康福祉センター)との連携促進	〃																	100千円 (講師謝金 会場費 県農業法人 協会会費)	[目指す姿への施策] ・異業種企業との連携により、ユニークな商品やビジネスモデルが生まれる 広範な情報アンテナにより異業種ニーズを検知できる ・広範な情報アンテナにより異業種ニーズを検知できる ・異業種の本質的な課題が得られ解決に向けた提案が行える	
	ビジネスマッチへ 向けた活動 (I-2-2.2-(2))	ビジネスマッチ情報の提供 ・ビジネス企画を行うハッカソンイベントの開催 ※MISA内における大学とのコネクションを有効活用 ・ITとエンターテインメントを融合させた企画の検討	〃																	100千円 (会場費 運営費)	[目指す姿への施策] ・活動意欲があり機動力に富む協働プロジェクトをタイムリーに組織し、多くのビジネスチャンスを創出している	
	大学・行政との連携 タスク (I-2-2.3-(1))	・行政施策に関する説明会開催 経済産業局、みやぎ産業振興機構など ・産学官連携で地方創生、地域課題を解決するスキーム作り 地域課題の解決に向けたIT利活用の仕組み構築 また、上記実現のために事業構想力を会員企業が付けるためのセミナー実施 ・人財委員会との連携による大学とのスキーム作り ・県議会事務局、県教育委員会などの情報交換	〃																	300千円 (会場費)	[目指す姿への施策] ・企業側からの提案により、行政機関や大学から事業創出や市場開拓への協力を引き出している ・地域課題の解決を通してMISAのプレゼンスを高めると共に、各地にコネクションを作ることでお互いがWinWinになれる関係性を築く ・会員企業が自力で新たな事業を構想し、クリエイティブ性の高い仕事を担務することが出来るようになる	
	新たな研究会テーマ (I-2-2.3-(2))	新たな研究会立上げのための調査・研究活動を行う。 ・新規ビジネス立ち上げに関する調査・研究 ・他IoTやクラウドフォーラムとの連携 (ヘルステック、農林漁村地域づくり、次世代放射光など) ・働き方改革に関するIT活用事例と効果に関する調査 ・有識者に登壇いただき、新たな研究テーマの発掘(オンライン開催) 例)DXをテーマに講義を依頼	〃																300千円 (講師謝金 会場費)	[目指す姿への施策] ・事業テーマ別部会(プロジェクト的な時限組織)※の発足・運営 Society 5.0を目指した、社会的課題の解決をテーマとする。 ・エネルギーの多様化・地産地消 ・最適なバリューチェーン・自動生産 ・農作業の自動化・最適な配送 ・予防検診・ロボット介護 ・被災地域の経験を活かした防災、減災 ・Society 5.0に関わる業界別の勤務状況把握と可視化 (内閣府Society5.0より抜粋)		

(注)1.事業項目欄の()内は事業計画書本文の項目Noを示す。